

秋口は交通事故が増加する傾向に

交通安全の心掛けを



9月21日に行われた秋の全国交通安全運動街頭啓発

交通事故の発生は、9月から12月までがとて多いといわれています。町では、9月21日に秋の全国交通安全運動街頭啓発を実施し、交通安全を呼びかけました。交通事故は誰にでも起こり得る悲劇。ドライバーと歩行者、双方が気を付け、交通事故防止を心掛けましょう。

◇交通事故が多い時期は？

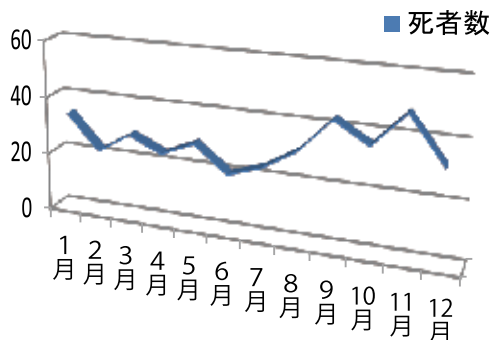
事故は年間を通して発生しますが、その数は秋口がとて多いといわれています。下の表とグラフは過去5年の県内での死亡事故発生状況です。これらを見てみても、ほかの時期に比べて、死亡事故の発生件数が多くなっていることが分かります。

◇なぜ秋の事故が多いのか？

交通事故が多い時間帯は、「夕暮れ時」といわれています。「秋の日はつるべ落とし」と、ことわざにもあるとおり、秋の日は急速に日が暮れ、真夏であれば明るかった時間帯も、秋はかなり薄暗くなります。ドライバーの「まだ明るいから大丈夫なのでは」というちよつとした油断から交通事故が発生してしまうのです。

◆過去5年の県内での死亡事故発生状況（平成24年～28年累計 月別対比）

	死者数
1月	34
2月	22
3月	29
4月	24
5月	29
6月	20
7月	24
8月	31
9月	43
10月	36
11月	48
12月	32



◇事故防止のためには…

▼ドライバーの皆さんへ

夕暮れ時の「ライトの早め点灯（※）」を心掛けましょう。早めの点灯には、ドライバーの視認性を高める効果のほか、周囲の車両や歩行者などに自分の接近を知らせる効果があります。

※ライトは「上向き点灯での走行」が原則です。対向車などの状況に応じ上向きと下向きをこまめに切り替えましょう。

▼歩行者の皆さんへ

外出時は反射材やLEDライトの着装、明るい服装を心掛けましょう。そうすることで、ドライバーが歩行者を発見しやすくなります。



小さな備えが大きな効果を（反射材を2つ装着）

また、道路を横断する際は、必ず立ち止まって左右の確認をしましょう。さらに、横断中も左右の安全確認をすることで、安全性が高まります。

◆問い合わせ

全係（☎82-31111内線126）へどうぞ。